

たてもものクイズ

この建物は、建物を立派に見せるために、ベランダの柱を2本、3本とならべている場所もあります。

さて、柱の数は、全部で何本あるでしょう。



はみだしコラム

1858年、江戸幕府は、日米修好通商条約を結び、横浜、長崎、函館、新潟、兵庫（神戸）の5港を開港することになりました。しかし神戸は他の港と比べ天皇が住む京都に近いという理由から、開港が遅れ、日米修好通商条約から10年後の1868年1月1日、神戸は開港しました。横浜や長崎といった他の開港地と比べ、後からできたため、まちづくりが計画的に行われ、神戸は、当時のイギリスの新聞に「東洋における居留地として最も良く計画された美しい街である」と紹介されました。



明治村 錦絵れきし探偵団



神戸山手西洋人住居
兵庫 明治20年代

博文コース



私は、初代兵庫県知事として、神戸の新しいまちづくりをしていました。当時の神戸の美しいまちの様子を錦絵でみてください。



錦絵とは、多くの色を使った浮世絵の一種で、江戸時代中期に誕生しました。明治時代に入ると使われる色の種類も更に豊富になり、テーマもより話題性のあるものが選ばれるようになって行きました。

平成19年度
文化庁芸術拠点
形成事業



「摂州神戸 新建西洋館市街賑之図」 長谷川小信(二代貞信) 画

Q1

この錦絵には、3つの国旗が描かれています。アメリカ、オランダ、もう一つは次の3つの国のうち、どこでしょう？

- ① 中国 ② イギリス ③ ドイツ

Q2

この錦絵には、馬車や人力車などの乗り物がみられます。人力車は江戸時代に普及していた籠に変わる乗り物として人気がでました。発明した人はどこの国の人でしょう？

- ① インド人 ② オランダ人 ③ 日本人

Q3

この絵にはガス灯とよばれる照明器具がみられます。当時の人々は、ガス灯の明るさに驚いて、信じられないような噂が流れました。どんな噂でしょう？

- ① 時間がたつと爆発する。
② ガス灯のにおいをかぐと死んでしまう。
③ 死んだ人の魂が燃えている。



明治村1丁目に明治時代に神戸で使われたガス灯があります。見に行ってみよう。

